

救急相談センター広島広域都市圏・備後圏域（#7119）の広報活動

1 県との連携による広報

令和6年4月より、備後圏域が対象エリアに加わり、広島県内ほぼ全域で利用可能になったことから、今年度より県と協力した広報を実施

(1) 広報促進ワーキンググループの開催

広島県主導により、県担当者、広島市、福山市、呉市の保健部局及び消防部局の担当者、県医師会担当者などをメンバーとするワーキンググループを開催（令和6年度は4回開催）。

県、市町で統一的に行う広報の検討、各エリアで実施している広報活動を相互に情報提供するなど、広報展開の進め方を共有した。

(2) ポスター、チラシ、PR 動画の作成

対象エリアが広がったことに伴い、ポスターやチラシを県と共に新たに作成し、医療機関など関係機関に配付した。また、新たに SNS 等で活用できる PR 動画（15 秒）を作成し、様々な場面で活用した。

新ポスターデザイン

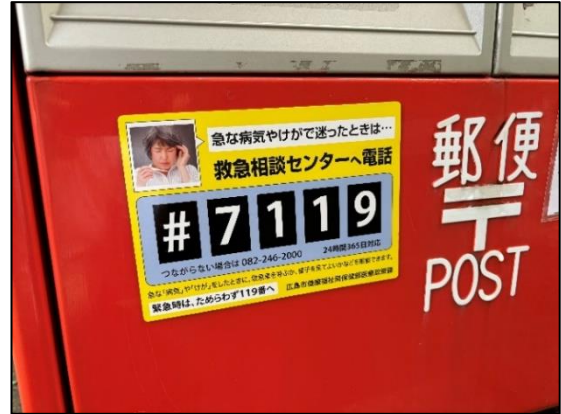
広島市公式 X に動画投稿

2 本市の取組

例年実施している本市ホームページや広報紙による広報に加え、企業と連携した広報、ノベルティの作成など新たな手段による広報も実施した

(1) 日本郵便等の企業と連携した広報

- ・(株)日本郵便と連携し、市内 161 局の郵便ポストにA 5サイズのマグネット貼付。
- ・市と包括連携協定を締結しているコンビニ（セブンイレブン・ポプラ）店舗へチラシを配架



(2) 広報番組、SNS、デジタルサイネージを活用した発信

- ・「上手な医療のかかり方」の啓発として、#7119の活用を広報番組でアピール
- ・YouTube や X、TikTok など様々な SNS に動画を掲載
- ・市内中心部やショッピングモールに設置されているデジタルサイネージや、区役所の待合スペースに設置されているモニターでPR動画を放映



TV 広報番組での PR



市内中心部のデジタルサイネージ

(3) PRのためのノベルティ作成、配布

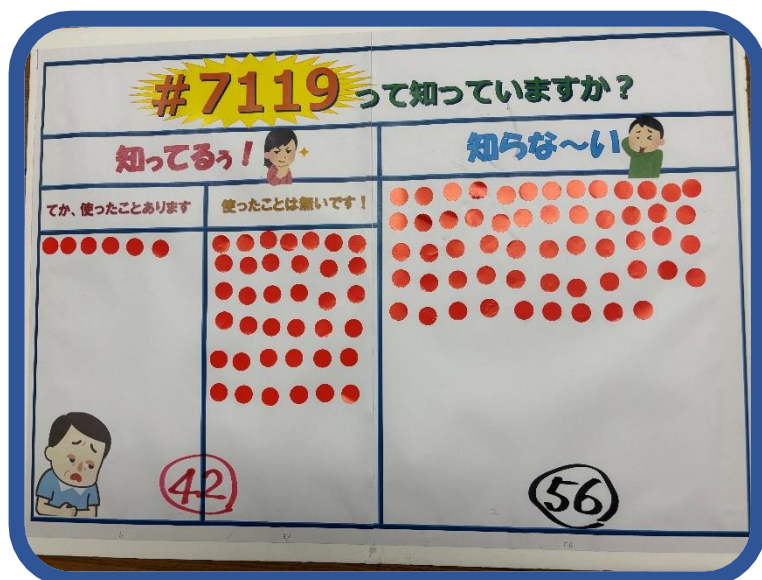
- ・クリアファイル等、新たなノベルティを作成し、「20歳を祝うつどい」など市のイベントで配布（配付時に認知度アンケートを試行的に実施）



クリアファイル



名刺サイズのマグネット



「二十歳を祝うつどい」において、ノベルティの配布に合わせてアンケートを実施しました。20歳からの認知率は約半数でした。